

専用リチウム電池について

警告

- 必ず専用電池を使用する。
故障の原因や発火、漏液、発熱、破損のおそれがあります。
- 電池を火中や水中に投入したり、加熱、分解、改造、充電、はんだ付けなどをしてはならない。
発火、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
- 電池の交換は乳幼児の手の届かない場所で行う。
誤飲のおそれがあります。
- 本製品に使用のリチウム電池は、航空機輸送及び海上輸送の規制の対象品（国内、海外ともに）ですのでご注意ください。

ご注意

- 電池からの漏液が目に入ったり皮膚に付いた時には、ただちに水洗いし、医師に相談してください。
- 電池のフィルムは、はがさないでください。フィルムは電池を保護するためのものです。

3. 商品のご確認

以下の商品内容物が揃っていることを確認してください。

①本体

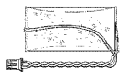


②取付ベース



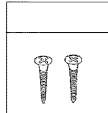
④出荷時に警報器本体に取り付けてあります。

③専用リチウム電池
(公称電圧 DC3V)



⑤保護フィルムをはがさないでください。
・市販品ではありません。

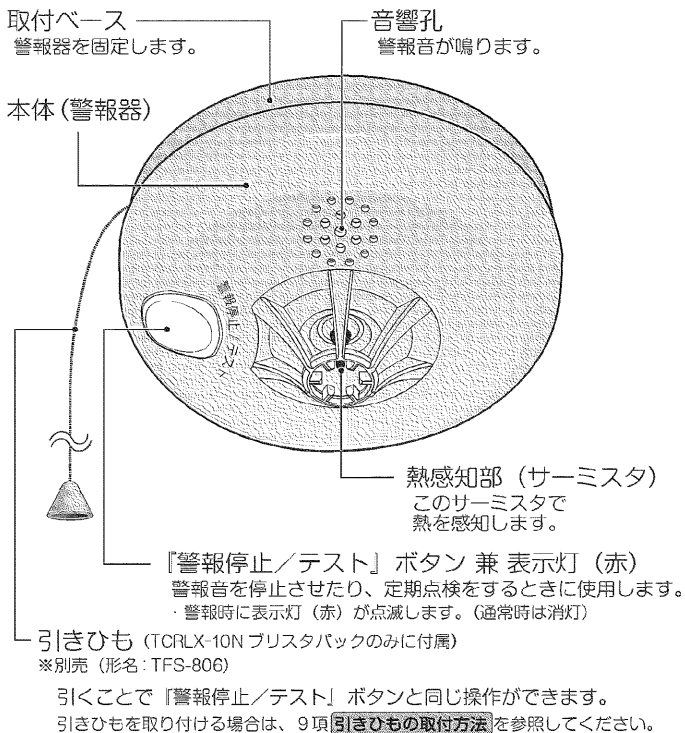
④取付ネジ (2本入り)



⑤取扱説明書 (保証書付)
(本書)



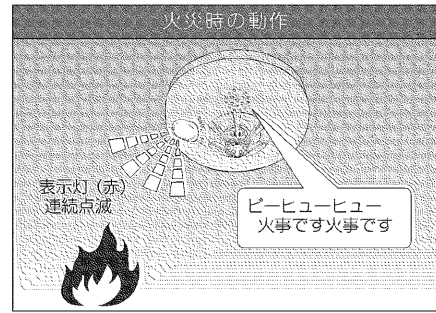
4. 各部の名称とはたらき



5. 機能 (各警報について)

火災警報

熱を感知すると、次のように警報音と表示灯 (赤) が連続点滅してお知らせします。



火災のとき

感知元 (火元) を確認し、119番へ通報するなど適切な対処をしてください。湿度が下がると自動的に警報は停止します。

火災でないとき

火災以外でも次のような場合は警報動作をすることがあります。警報音を停止し、換気をするなどして警報の要因を取り除いてください。
・ストーブの直上など60℃以上の熱を感知した場合

火災警報音を停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す (引きひもがある場合は引く) と約5分間警報音が停止します。
- 警報音停止中の5分間は表示灯 (赤) がゆっくり点滅し続けます。



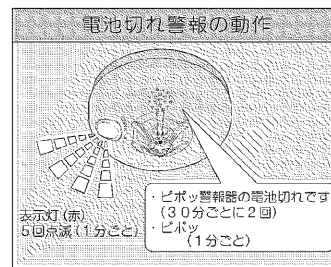
感知部に熱が残っている場合は約5分後に再び火災警報音が鳴ります。うちわで風を送るなどして警報器を冷ますことにより火災警報は自動的に止まります。



火災以外で警報が鳴っても、警報器本体や電池をはがさない。その後の監視ができなくなり、火災を感知してお知らせすることができません。

電池切れ警報

専用リチウム電池の電池電圧が低下して電池の寿命が近づくと、次のように警報音と表示灯 (赤) が約1分ごとに5回点滅してお知らせします。



電池切れ警報が出たら

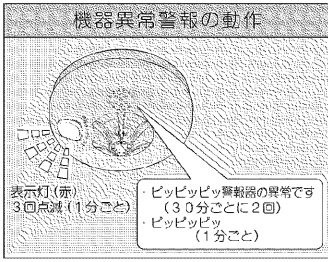
- 販売店にご相談のうえ、すみやかに新しい警報器または電池と交換してください。
- ④電池を交換した場合は、正常に動作するか、テストしてください。
- ※専用リチウム電池 (サービス部品コード:18173010) (東芝テクノネットワーク(株)扱い)

電池切れ警報音を停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す (引きひもがある場合は引く) と音声で電池切れをお知らせし、約24時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯 (赤) が10秒ごとに1回点滅します。
- 警報音停止操作をすることに音声で電池切れをお知らせし、最後の操作から約24時間警報音を停止します。

機器異常警報

警報器の感度が劣化し正常に火災を感知できない場合、次のように警報音と表示灯(赤)が約1分ごとに3回点滅してお知らせします。



機器異常警報が出たら

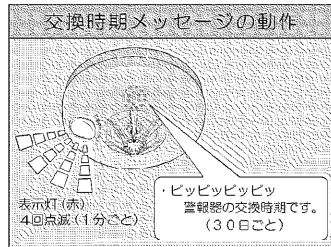
- 警報器の感度が劣化しています。すみやかに新しい警報器と交換してください。
- ◎警報器の感度が劣化している場合、正常に火災を感知できません。

機器異常警報音を停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す(引きひもがある場合は引く)と音声で機器異常をお知らせし、約24時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯(赤)が10秒ごとに3回点滅します。
- 警報音停止操作をすることで音声で機器異常をお知らせし、最後の操作から約24時間警報音を停止します。

交換時期メッセージ

専用リチウム電池を接続して10年を越えると、次のようなメッセージが30日ごと、表示灯(赤)が1分ごとに4回点滅してお知らせします。



交換時期メッセージが出たら

- 警報器の電子部品の劣化や感知部の汚れにより、故障または火災の感知が遅れる場合があります。交換時期メッセージが鳴動したら、すみやかに新しい警報器と交換してください。
- ◎警報器の電子部品が劣化して故障した場合、火災の感知ができない他、機器異常警報も鳴動しません。

交換時期メッセージを停止するには

- 「警報停止/テスト」ボタンを押す(引きひもがある場合は引く)と音声で交換時期をお知らせし、メッセージと表示灯(赤)が停止します。
- メッセージ停止後は、「警報停止/テスト」ボタンを押すことで、交換時期メッセージをお知らせします。

注意

この商品は10年で交換
10年を越えて使用すると、汚れなどの影響により火災の感知が遅れる場合があります。交換時期メッセージが鳴動したら、すみやかに新しい警報器と交換してください。

各警報の優先順位
複数の条件に該当している場合は、優先順位の高い警報を鳴動します。

| | |
|----|------------|
| 高い | ①火災警報 |
| | ②機器異常警報 |
| | ③電池切れ警報 |
| 低い | ④交換時期メッセージ |

6. 定期点検のしかた(テスト)

正常に動作することを確認するため、定期点検を必ず行ってください。

外観を確認する (推奨点検頻度: 12ヶ月に1回以上)

- ホコリやクモの巣などの異物が感知部および周辺に付着している場合は、掃除機で取り除いてください。そのままの状態で使用すると火災の感知が遅くなったり、感知できない場合があります。

機能を確認する (推奨点検頻度: 1ヶ月に1回、または、3日以上留守にされたとき)

以下の要領でテストしてください。
テスト結果が正常以外の場合は「対処方法」にしたがって対処してください。

- 「警報停止/テスト」ボタンを短押しする。(3秒未満)(引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。)
- 操作音が「ピピ」と鳴り、テスト結果を鳴動します。



| 結果 | 警報音(音声) | 表示灯(赤) |
|------|------------------|----------------------|
| 正常 | 正常です | 点灯 〔「正常です」鳴動中〕 |
| 電池切れ | ピポッ警報器の電池切れです | 1回点滅 (ピポッと同期) |
| 機器異常 | ピピピピ警報器の異常です | 3回点滅 (ピピピピッと同期) |
| 交換時期 | ピピピピピピ警報器の交換時期です | 4回点滅 (ピピピピピピッと同期) |

対処方法

- 電池切れの場合
電池の残量が残り少なくなりました。販売店にご相談のうえ、すみやかに新しい警報器または電池と交換してください。
◎専用リチウム電池は市販品ではありません。
◎設置後10年を経過している場合や著しく汚れている場合は、警報器を交換してください。
- 機器異常の場合
警報器の感度が劣化しています。すみやかに新しい警報器と交換してください。
◎機器異常が発生すると、正常に火災を感知できません。
- 交換時期の場合
電子部品の劣化が考えられます。すみやかに新しい警報器と交換してください。
◎電子部品が劣化して故障した場合、火災を感知できません。

注意

点検における結果報知の優先順位
複数の条件に該当している場合は、優先順位の高い点検結果を報知します。

| | |
|----|------------|
| 高い | ①機器異常 |
| | ②電池切れ |
| | ③交換時期メッセージ |
| 低い | ④正常 |

補足: 火災警報音の確認

火災警報音を確認したいときは、次の操作をしてください。

- 「警報停止/テスト」ボタンを押すと、操作音が「ピピ」と鳴り、そのまま約3秒以上長押しを続けると火災警報音を鳴動します。
(引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。)
- ◎電池切れ・機器異常時は火災警報音の確認はできません。



| 結果 | 警報音(音声) | 表示灯(赤) |
|----|----------------------|--------|
| 正常 | ビー、ヒュー、ヒュー、火事です、火事です | 連続点滅 |

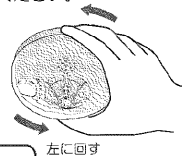
◎火災警報音は「警報停止/テスト」ボタンを押し続けている間繰り返します。(最大30秒間)

7. お手入れ方法

12ヶ月に1回程度、この商品の掃除を行ってください。
掃除をする際は、本体を取りはずしてから行ってください。

(1) 本体を取りはずす

- 警報器本体を設置面に軽く押しつけながら、左に回してください。(取付ベースは設置面に残してください。)
- ◎壁に掛けて使用している場合は、取付ベースことはずしてください。



必ず守る

感知部を持ってはささない。
故障して火災を感知できなくなるおそれがあります。

(2) お手入れをする

注意

警報音が鳴ることがあります。
「警報停止/テスト」ボタンに触れて、ボタンが押されると警報音やテスト音が鳴動しますので、なるべく「警報停止/テスト」ボタンに触れないよう注意して作業してください。

汚れを拭き取るとき

- 本体が汚れたら、布を水または中性洗剤に浸し、十分に絞ってから拭き取ってください。その際、熱感知部に触れないよう注意してください。



分解禁止
機器内部は精密に調整されていますので分解しないでください。正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。

水洗い禁止
内部に水が入らないよう気をつけてください。正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。

禁止
薬品の使用禁止
ベンジン・シンナーやアルコールなどの化学薬品で拭き取らないでください。樹脂が変形したり劣化して割れることがあります。

(3) もとに戻す(お手入れ後)

お手入れ後は、本体をもとに戻してテスト(機能確認)してください。
⇒「6. 定期点検のしかた(テスト)」参照

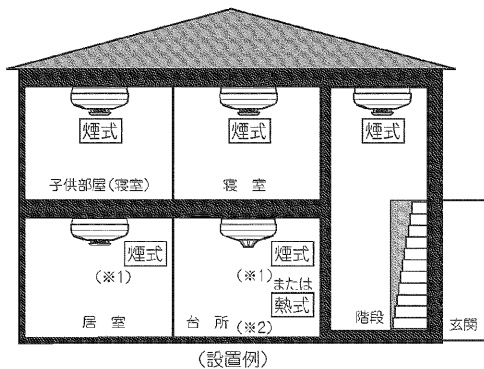
- 本体表面が乾いているから取り付けてください。
- 電池のコネクタが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- 熱感知部にホコリやクモの巣がないことを確認してください。
- 引きひもがある場合は、ひもを本体切欠きに確実に通してください。

8. 取付場所

取付場所については、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

取付場所

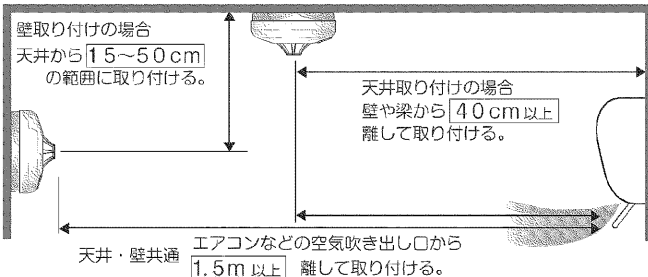
台所などへの取り付けをおすすめします。



(※1) 台所や居室等は、市町村条例により設置が義務づけられる場合があります。
(※2) 熱式は調理の煙や湯気による誤報の発生が心配される台所のみを設置してください。

取付位置

以下の取付位置を守り、『警報停止/テスト』ボタン（引きひもがある場合は引きひも）が操作しやすい位置に取り付けてください。



●上記を守ったうえで、照明器具から50cm程度離してください。



●なるべく部屋の中心になるように取り付けてください。



0～40℃の温度範囲内で結露しない場所に取り付ける。
必ず正しい取付場所に取り付ける。
次のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因および正常に火災を感知できないおそれがあります。

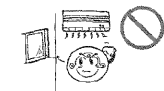
次のような場所には取り付けないでください。



●石油ストーブの近くなど
熱や水蒸気が発生する場所



●浴室など、水がかかる場所や、
常時温度や湿度が高い場所



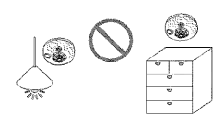
●空気の流れが激しい場所
・換気扇や扇風機、エアコンの近く
・すきま風の強い場所



●ガレージ、調理機などの、
火災でない熱、蒸気などが
かかる場所



●ホコリや虫の多い場所



●吊り下げ式の照明やタンスの真上

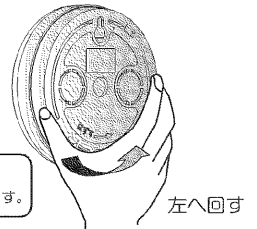
●屋外

●コンロの近くなど、台所など
で調理や熱が直接かかる場所

9. 取り付ける前に

(1) 取付ベースをはずす

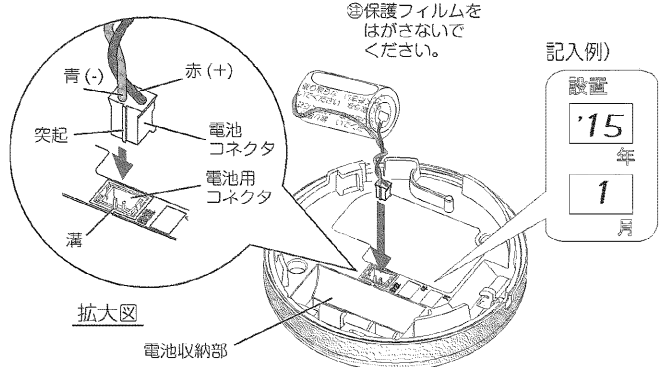
本体を押さえ、
取付ベースを左に回して
取りはずしてください。



感知部を持ってはつさない。
故障して火災を感知できなくなるおそれがあります。

(2) 専用リチウム電池を取り付け、設置年月を記入

①電池コネクタと本体側の電池用コネクタを接続します。
このとき拡大図のように、電池コネクタの突起と本体側の
電池用コネクタの溝をあわせて、奥までしっかりと差
してください。



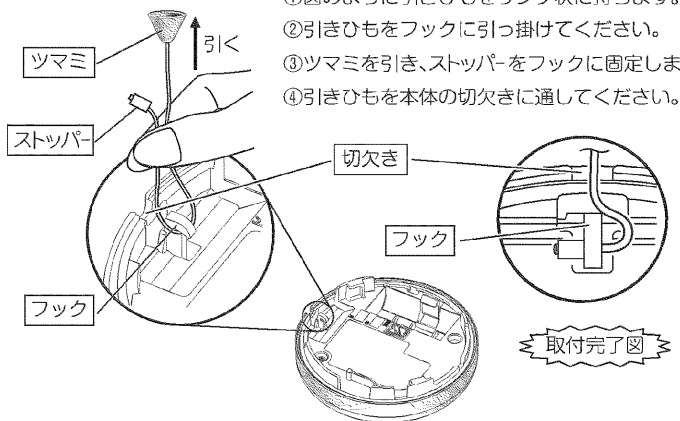
②本体の裏面にある電池収納部に電池を納めてください。
このとき、電線を電池と収納部の間に挟まないでください。
本体が取付ベースに取り付けられなくなります。

③本体裏面に、油性ペンで設置年月を記入してください。

引きひもの取付方法

別売引きひも 形名：TFS-806

- ①図のように引きひもをリング状に持ちます。
- ②引きひもをフックに引っ掛けてください。
- ③ツマミを引き、ストッパーをフックに固定します。
- ④引きひもを本体の切欠きに通してください。



引きひもを取り付けるとき、フックが引かれて
警報音やテスト音声がかかることがあるので注意
する。(監視状態の場合)



引きひもを強く引かない。
引きひもがはずれる。または取付状態によっては本体が
落下するおそれがあります。



引きひもは本体の切欠きに確実に通す。
ボタンの操作ができなくなるおそれがあります。

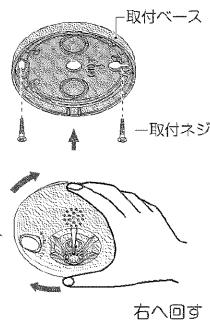
10. 取り付けかた

下記の要領で天井または壁面に取り付けます。

天井に取り付けるとき

- ①天井面の十分強度のある補強材などが通っている場所に、取付ネジで取付ベースを固定してください。

【警報停止/テスト】ボタン兼表示灯が見やすい位置になるようにベースの向きを合わせてください。



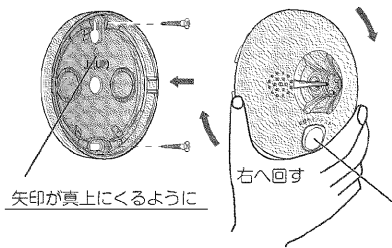
- ②本体の底面部を取付ベースに当て、止まるまで右に回してください。



付属の取付ネジ以外で取り付けない。
本体が落下して破損したり、ケガをするおそれがあります。

壁に取り付けるとき

ネジ止めして取り付けるとき



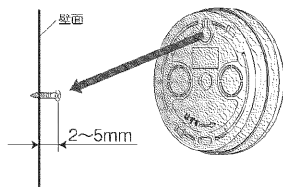
- ①壁面の十分強度のある補強材などが通っている場所に、取付ベースの向きを間違えないように(矢印を真上にする)取付ネジでしっかりと固定してください。

【警報停止/テスト】ボタンの位置が下になるように

- ②【警報停止/テスト】ボタンが下になるように取付ベースと合わせ、止まるまで右に回してください。

掛けて取り付けるとき

- ①本体に取付ベースを取り付けてください。
- ②取付ネジを壁の途中まで垂直にねじ込んでください。(ネジ頭と壁の間が2～5mmの範囲になるまでねじ込んでください。)
- ③ネジ頭に、取付ベースにある取付孔を引っ掛けてください。



警報器を取り付けた後は、必ずテストをして正常に動作することを確認してください。テスト方法は

6. 定期点検のしかた(テスト)を参照ください。



引きひもを取り付ける場合は、本体と取付ベースの間に引きひもを挟まないよう注意する。
ボタンの操作ができなくなるおそれがあります。

11. 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、下表の対処をしてください。

下表のとおりに対処しても異常がある場合は、お買い上げの販売店または「東芝ライテック照明ご相談センター」にお問い合わせください。

| 症状 | 原因 | 対処 |
|--------------------|---|--|
| 火災ではないのに火災警報動作をする。 | 調理の熱、ストーブやコンロの熱、直射日光などの熱がこの商品にあたっていませんか? | 警報音を停止し、警報器周辺の熱がとがるまでお待ちください。 |
| | 熱感知部付近に熱が滞留していませんか? | 警報音を停止し、熱感知部の熱をうちわなどであおき要因を取り除いてください。 |
| 火災警報動作をしない。 | 専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか? | コネクタをしっかりと奥まで差し込んでください。 |
| | 専用リチウム電池の寿命ではありませんか? 【電池切れ警報】が鳴っていませんか? | 新しい警報器または電池と交換してください。 |
| | 火災警報音停止操作をしませんでしたか? 表示灯(赤)がゆっくり点滅していませんか? | 火災警報音の停止操作後5分間は、熱を感知しても警報音は鳴動しません。ボタンまたは引きひもを操作すると「ビビ」と鳴ります。 |

| 症状 | 原因 | 対処 |
|----------------------------------|---|-------------------------|
| 約1分間隔で「ビボッ」と鳴り、表示灯(赤)が5回点滅する。 | 【電池切れ警報】電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。 | 新しい警報器または電池と交換してください。 |
| 約10秒間隔で表示灯(赤)が1回点滅する。 | 【電池切れ警報】の警報音を停止中です。 | |
| 約1分間隔で「ピッピッピッ」と鳴り、表示灯(赤)が3回点滅する。 | 【機器異常警報】警報器の感度が劣化し、火災を正常に感知できません。 | 新しい警報器と交換してください。 |
| 約10秒間隔で表示灯(赤)が3回点滅する。 | 【機器異常警報】の警報音を停止中です。 | |
| 約1分間隔で表示灯(赤)が4回点滅する。 | 【交換時期メッセージ】電池コネクタを接続して、10年を越えています。 | 約5分経過後、再度テストしてください。 |
| テストすると「ビビ」としか鳴らない。 | 火災警報音を停止中です。表示灯(赤)がゆっくり点滅していませんか? | |
| テストしても何も音が鳴らない。 | 専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか? | コネクタをしっかりと奥まで差し込んでください。 |
| | 専用リチウム電池の寿命ではありませんか? 【電池切れ警報】が鳴っていませんか? | 新しい警報器または電池と交換してください。 |

12. アフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料) 受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

13. 廃棄について

- この商品や電池を廃棄する場合は、分解したり加圧変形させず、市町村により定められたルールに従って廃棄してください。
(付属の電池は水銀を含みません。)
- 電池を廃棄する場合は、電池の保護フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻いてください。また、金属片など導通性のあるものと一緒に廃棄しないでください。絶縁状態にせず廃棄すると電池がショートし、発火、破裂の原因となります。

14. 仕様

| | |
|-------------------|--|
| 型名 | TCRL-10N |
| 種別 | 定温式住宅用防災警報器 |
| 型式 | 電池方式 (DC3V、300mA)、自動試験機能付 |
| 国家検定型式番号 | 住警第 26 ~ 13 号 |
| 電源 | 専用リチウム電池*1 〔公称電圧：DC3V〕 ・ CR17335E-N-CN3 ・ CR17335 WK210 (右記いずれか) |
| 電池寿命 | 約 10年*2 (機器交換の目安*3) |
| 警報音量 | 1mにて 70dB 以上 (検定規格) |
| 移動地点 | — |
| 外形寸法 (取付ベース含む) | φ 82mm × 42.5mm |
| 質量 (電池含む) | 約 80g |
| 主材 | 難燃性 PC 系樹脂 |
| 色 | ナチュラルホワイト |
| 使用温度範囲 | 0 ~ 40℃ (結露しないこと) |
| 取付場所 | 天井面・壁面 兼用 |

●引きひもは別売りです (形名：TFS-806)。

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

※ 1 専用リチウム電池 (サービス部品コード：18173010)
(東芝テクノネットワーク(株)扱い)

※ 2 電池寿命は、使用温度などの外部環境や使用条件によって短くなる場合があります。

※ 3 電池コネクタを接続して 10年を越えると交換時期メッセージを鳴動します。

15. 保証について

保証について

- ・保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- ・保証期間中は、保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。
- ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関する相談は、お買い上げの販売店または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。その際は機器の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- ・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- ・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

TN51752-④